

KAGAWAアンバサダーからのお便り ～石谷 誠さん～

香川の皆さん、こんにちは。インドのムンバイから KAGAWA アンバサダーの石谷がお便りします。

インドの人口は 12 億人強。平均年齢が 25 歳弱と日本より 20 歳も若く伸び盛りの国で、中国を抜いて人口世界一になるのも時間の問題と言われていす。街に出ると肌で感じるのですが、人も車も多く、至る所で工事が行われており、日本の高度成長期のような活気があります。経済はこの2年こそ GDP 成長率が 5%弱と低迷しましたが、5 月 16 日に開票された有権者 8 億人の総選挙で、開発重視のグジャラート州首相モディ氏が率いる最大野党の人民党が単独過半数を獲得したことから、再び高成長軌道に戻ることが期待されています。欧州勢・韓国勢に比べて出遅れ感があった日本企業ですが、近年日本政府によるインフラ整備への資金援助等のあと押しもあり、民間企業の進出も活発になっています。中でも日本企業のインド進出を支援し、工場用地の手当て等具体的な解決策にも取り組んでおられるジェットロの皆さんの活動が目立っています。昨年初にはジェットロ主催のグジャラート州の投資サミットへのミッションに私も同行させて頂き、当時州首相であったモディ氏も同席された工業団地入居のための MOU 締結式に臨むことができました（写真①）。また、昨年末には天皇皇后両陛下が訪問され、今年 1 月の共和国記念日には安倍首相が主賓として招かれるなど、もともと親日的なインドとの関係は益々順調に推移していると言えます。



写真①： 昨年のJETRO ミッションで新首相になったモディ氏（中央）と

さて、私が社長を務める JSWMI 社は伊藤忠丸紅鉄鋼（株）とインドの鉄鋼大手 JSW スチールと折半出資の合弁会社で、私は日マインド人スタッフに囲まれて仕事をしていますが、文化・生活習慣の違いから、驚かされる場面によく遭遇します。その一つがインド時間です。これは日本との時差である3時間半をさすのではなく、インド人の時間感覚のことです。先日パートナーの新工場が稼働したので、その開所式に行ってきたのですが、パーティーの開始時刻が午後7時半と告げられたので、余裕を持って午後8時までに会場に到着しました（この辺り、私も相当インド化が進んでおります）。が、案の定、来ているのは日本人客ばかりで、料理も準備できておらず、ステージの開演は9時過ぎ。料理が食べられるようになったのはその後でした。ステージではポリウッド系の歌手（写真②）が盛り上げたこともあり、インド人は吞んで歌って踊って深夜過ぎまで騒ぎ倒し、そのパワーには圧倒されました。この他、訪問先のアポを取ってもなかなかその時間に会えないことが良くあり、次のアポへの影響を避けるためにスケジュールに余裕を見て防衛することも多々あります。少なくとも社内では日本流に5分前ルールを設けて会議の5分前には必ず席についておくように伝えたところ、全員ではありませんが主だったメンバーはなんとか集合時間に間に合うように来るようになりました。その後、ヒンズー語には、何時（O'clock）を表す「Baj」という言葉はありますが分や秒を表す言葉はなく、また昨日も明日も「Kal」という同じ言葉で表すことを知ってなるほど！と思いました。この他、インド人の特性として計画性のなさがあげられますが、

その反面として思いもしなかった事態が起きた場合の、その場しのぎのうまさ、粘り強さは特筆に値すると思います。



写真②： JSW 第二冷延工場開所式のパーティー後、ホテルでポリウッド系の歌手と共に

在留邦人の数は年々増えてはいるものの、まだ 7000 人程度と、東南アジア諸国に比べて日本人の存在感はあまりありません。私が住んでいるムンバイは人口 1200 万人のインド屈指の国際都市ですが、在留邦人は 600 人程度とごく少数です。しかしながら、少数が故の団結の良さでしょうか、その 600 人中、400 人もが集まる毎年恒例の新年会を始め、日本人墓地墓参（戦前のムンバイは欧州航路の中継基地だったこともあり、最盛期には 3000 人の日本人が住んでいたそうです）、毎週日曜日ムンバイ大学のコートを借りて開催されるテニススクール等、日本人コミュニティー内の行事が大変充実しています。その中でもとっておきの集まりがムンバイ香川県人会（写真③）です。マンダムの十河さん、東京海上の赤松さん、事務局を務めてもらっている百十四銀行からジェットロに出向している佐熊さんと共に昨年発足させたのですが、メンバー皆、香川県人ならではの温厚さと人あたりのよさですぐに意気投合しました。ムンバイに進出を検討されている香川県人の方、県内企業の方には我々ムンバイ県人会がバックアップを惜しみませんので、どうぞお気軽にご一報ください。



写真③：ムンバイ香川県人会、右から佐熊夫妻、十河さん、小職、赤松さん、塩谷さん（明治安田生命）



石谷 誠（いしたに まこと）さん

JSW MI Steel Service Center Pte. Ltd. 社長。インド・ムンバイ在住。KAGAWA アンバサダーを平成 26 年 4 月 1 日に委嘱。

普通寺市出身。

米国駐在歴 14 年の商社マン。2012 年より、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)とインド民間最大手の鉄鋼メーカーである JSW スチール社との合併で設立されたインド・ムンバイの鋼材加工販売会社の社長。

☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。